



長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

フレンズ

No. 22

2004年6月1日発行

機関紙フレンズ編集部

Tel : 0561(61)3411

新年度に向け総会を開く

3月24日
文化の家音楽室

会員の
みなさんに

親しまれる活動をめざします



3月24日、文化の家「音楽室」で、第6回総会を開催しました。文化の家川上實館長から来賓祝辞をいただいた後、2003年度活動・会計報告、続いて2004年度の活動計画・予算案について審議を行い、それぞれ承認されました。

あわせて、「愛・地球博」が来年この地で開催されることを視野に入れ、「地域の文化の拠点である文化の家の活動を積極的に支える」「会員相互の親睦と交流を図り、いっそう皆さんに親しまれるための活動をめざす」こと、などを確認しました。

総会のあと、アトラクションとして、(中国)朱新建さんによる二胡、(モンゴル)包金鐘さんの竹笛、(モンゴル)吉林白巴拉さんのテノール、そして地元・市橋あゆみさんのピアノによる「ミニコンサート」を開催しました。

超絶技巧ともいえる演奏テクニックも披露された素晴らしい演奏会で、参加された方々はみな様に大きな満足を得られました。



写真
上:総会の会場。
下:ミニコンサートの様子。
出演者は中国、モンゴルの鮮やかな民族衣装に身を包んでいた。

新役員です！ よろしくお願ひします

- 会 長 水野美々子 (文化の家運営委員)
副 会 長 福岡八重子 (研修部長)
副 会 長 阪上由美子 (事業部長、
文化の家企画委員)
会 計 山口 節 子 (事務局長)
会 計 瀬川 典 子 (事務局)
岩瀬 信 廣 (機関紙部長)
鈴木多恵子 (当日運営部長)
梅田 小 夜 (事業部)
青山つた系 (当日運営部)
落合 路 子 (研修部)
会計監査 鈴木 禮 子
会計監査 畑 中 梨 江 (文化の家職員)

初心を忘れず前向きでがんばります

新緑が爽やかで、芽吹きエネルギーを感じる季節となりました。みなさまのご協力のもと、無事総会を終えることができました。二胡、内モンゴルの竹笛、テノール歌手の歌声はいかがでしたでしょうか。

フレンズは専門部の充実を図り、初心を忘れないよう前向きで行きたいと思っています。

また、8月の「フレンズのつどい Part12」でお会いできることを楽しみに、ご報告と決意とさせていただきます。

スタッフ一同、胸弾ませてお待ちしております。

フレンズ会長 水野美々子

フレンズ・スタッフが研修に 5月25日 知立へ

質の高いボランティアを目差す 「パティオ・ウェーブ」

フレンズ、文化の家職員など21名を乗せたバスが、長久手町を出て40分。田園風景の中に「光・緑・泉・水」と4つのパティオ（中庭）を持つ、明るく現代的な建物の知立市文化会館「パティオ池鯉鮒」に到着しました。

永井プロデューサー、職員、パティオ・ウェーブの皆さんのお出迎えを受け、講義室に案内されると早速、伊豫田(いよだ)館長からホールボランティア「パティオ・ウェーブ」の活動についてお話を伺いました。

4年目を迎えた「パティオ・ウェーブ」には約100名が登録、男女の割合は4対6とか。会長を設けず、会費もなし、組織としての形は作らずに、ボランティア一人ひとりが「パティオ池鯉鮒」と繋がっているという自覚を持って活動する。その結果、自発性が生まれ、自由で縛られない活動が出来ると説明されました。

フロント、広報、企画・制作、舞台美術、舞台技術の5セクションに分かれ、そこでもリーダーはなし。各セクションに職員が担当窓口として付き、メンバーの名前と顔を覚えて、マンツーマンで接しているとのこと。主に電話連絡によって、1回限りのボランティアも毎回参加するボランティアも、同じ仲間としてコンタクトをとるよう心がけているそうです。その中で、「無理なく、出来



パティオ池鯉鮒の前で

る時に、出来ることを、自ら楽しんで活動する」という、ボランティアの基本的なことが守られているようです。職員も大変ですが、ボランティアと共に地域の文化をはぐくむ姿勢で、常にコミュニケーションをとる。つまり、それぞれの持ち味を生かした住み分けや、協働体制が確立されているようです。

館長のお話や懇談の中から、皆さんの和やかさと、固い信頼関係が私たちにも良く伝わり、安心して各人の特技や得意分野を生かし活動に取り組む「パティオ・ウェーブ」の人びとは輝いて見えました。

「フレンズ・スタッフ」とは違った方法で、文化ボランティアをしている方々ですが、劇場が好きで人が大好き、活動することが何より楽しいという思いは、私たちとも共通すると確信しました。

研修のあと、知立神社に立ち寄り、花しょうぶを鑑賞。爽やかな田を渡る風に見送られながら、満ち足りた思いで帰路につきました。



パティオ・ウェーブでご活躍の
お二人から、お話を伺いました。

広報で実働しているスタッフは6人位です。毎月第1火曜日に編集会議を開いています。年に4回のパティオ池鯉鮒・ボランティア便り、パティオ池鯉鮒文化情報誌の発行のため、取材など忙しい思いはしますが、皆さんと作り上げていく楽しさがあります。

また、パティオを通じて対外的な交流もでき、嬉しいですね。



広報セクション
細川様

フロントを受け持ち、受付、もぎり、場内案内、アナウンスをこなします。職員から予定表がFAXで送られてくると、都合の良い日に印をして送り返します。

新しい人も、マニュアルを見て簡単なことから参加できます。セクション内に自然に世話人ができ、交流もあり楽しく活動しています。スタッフの制服はありませんが、ブルーリボンのネームプレートが、パティオ・ウェーブらしくて好きですね。



フロントセクション
野村様

新しいお二人の 創造スタッフ紹介

今年度から、長久手町文化の家の創造スタッフの新しい顔ぶれとして、音楽(フルート)担当の宇佐美敦博さん。美術担当の澤村佳代子さんが参加されました。ご紹介します。

音楽の創造スタッフを担当します。

本職はフルート奏者ですが、今年1月に文化の家で公演のあった「蜜の歳月」では、なぜか(!)黒子ダンサーの一人として踊っていたので、ご記憶の方もいらっしゃるかもしれません。

アトリビング講座では「フルート」や「はじめての楽譜」を担当いたします。文化の家の自主公演時もしろいろとお手伝いをし、ほかに「ギャラリーコンサート」や「音楽デリバリー事業」などの演奏活動も予定しています。さらに、長久手町の皆さんに永く愛され続け、支え続けられていく、文化の家のオリジナルの公演の企画もしたいなあ...と、いろいろ構想を温めています。もし実現しましたら、ぜひ皆さんの力をお貸しください。



創造スタッフ
宇佐美敦博さん

創造スタッフとして、美術を担当します。

日常の私自身の制作活動から、長久手町文化の家での文化活動に参加させていただき、たいへんうれしく思っています。

主な活動のひとつに、こども美術講座をうけもちます。美術、創造に関わる最初の入口として、こどもたちそれぞれのもつ個性や感性をおさえつけてしまうことなく引き出し、発見できる機会になればと思っています。責任を感じつつも、わくわくとした気持ちで、進めていきたいと願っています。その他にも、様々な人と関われるような活動をしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひします。



創造スタッフ
澤村佳代子さん

「文化の家」の職員 新しい顔ぶれです。 よろしくお願ひします。

4月の人事異動に伴い、文化の家に新しい顔ぶれがみえました。それぞれ、自己紹介をしていただきました。よろしくお願ひします。

新規採用で文化の家に配属された、井上真美です。高校時代は演劇部に所属、その後も劇団に入っ活動をし、大学は教育学部に在籍、軽音楽のサークルに入っていました。こんな私ですから文化の家に配属が決まったときは大変嬉しかったです。実際に働き始めると、想像以上に広く、深い仕事で、さらに文化の家は様々な刺激があふれています。

住民の方々にもこの思いを共感していただけたらと思います。長久手町の文化の発展に少しでも役立ちたいと願っています。



事業係
井上真美さん

この4月から長久手町文化の家に配属となり、主幹を担当する藤井義修(よしのぶと読みます)です。

文化の家の前は土木課に勤務し、その前はスポーツ課で杵ヶ池体育館にいました。趣味は40歳を過ぎて始めたスキーと、いつまでたっても100が切れないゴルフです。今後いろいろお世話になりますが、よろしくお願ひします。



主幹
藤井義修さん

4月から文化の家に配属された畑中梨江です。前は環境課で国際規格であるISOに関する業務を担当していました。今回、文化の家ということで、今までとまったく異なる分野に、少し戸惑っています。

今までは演劇や音楽はあまり知らなかったのですが、これを機会に自分なりに感性を深めていけたらと思います。精一杯頑張ります。



管理係
畑中梨江さん

TENGO 情熱のライブ

フレンズのつどいPart. 12



二人がジプシー音楽と出会ったことで、情熱的なメロディ、パワフルで繊細なTENGOの世界が出現した。

8月1日(日)
午後5時開演
長久手町文化の家
森のホール

みなさまのご支援を得て「フレンズのつどい」は、今回で Part. 12 に達します。

特異な音楽人生を歩んだ TENGO のお二人が、ジプシー音楽と出会って獲得した独自の世界を、自由奔放に私たちの前に繰り広げていただけることと、いまから期待がふくらみます。

公演を前に、TENGO のお二人から、フレンズに宛て、心のこもったメッセージをいただきました。

アコーディオン 後藤ミホコ

アコーディオン。特徴は、親しみ深い音色と、表情豊かな「じゃばら」の動き。私にとって、立って弾くには少し重い楽器ですが、いつも両足踏ん張って、思いっきり「じゃばら」を引っ張ります。私は、アコーディオンに自分の気持をストレートにぶつきたいと思っています。楽しい思い、悲しい思い、そして時に、人生に対する激しい喜びや苦しみ。そのような様々な思いを、表情豊かなアコーディオンの「じゃばら」に託したいのです。

私達 TENGO のステージで、音楽の楽しさを味わって頂き、また二人のオバサンの頑張っている姿をみなさんに見て頂ければ、と思います。そして同時に、楽器の魅力も発揮できるよう、頑張って演奏します。

みなさんとお会いする日を楽しみにしています。

バイオリン 天野紀子

私は、母の勧めで三歳からバイオリンを始めました。でも、練習は嫌でやる気もなく、と言ってやめさせてはもらえませんでした。練習の目的は、母の期待に応えて音楽学校に入り、演奏会で上手に弾くことだけ。でも、やっぱり、弾くからには人に認められたいな...と、この程度の意識でずっと音楽人生を送ってきました。

でも、56歳になった今、自分を見つめ直すことにたどり着き、「自分が思うもの、感じるものをそのまま、もっとハッキリと表現できるようになりたい。人から良い評価を受けることが目的ではない。(もちろん、それは素直に嬉しいけれど)」と思うようになりました。そして、これから自分自身のための努力をコツコツ続けたいと思います。



編集者コラム

劇場の空間が好きで飛び込んだフレンズ。たくさんのお出会い、発見、感動、喜び.....重ねていくことの大切さを実感する日々です。ま

TENGOコンサートのポスター、チラシを長久手近辺の文化施設などへ持参、お願いに。ささやかな仕事だが、長久手町文化振興施策の基本方針にある「誰もが参加でき、充実を得られる文化環境」づくりの一隅を分担と、小さな満足を実感。い



TENGOコンサート 主な演奏曲目

チャールダーシュ、ジェラシー、ハンガリー舞曲第5番・第6番、黒い瞳 など

入場料

指定席 2,500円

自由席 2,000円

(フレンズ会員は会員本人のみ
前売りに限り500円引き)

長久手町文化の家
チケットぴあ
Nピアにて
好評発売中